

平成19年3月期 決算説明会

平成19年5月17日



株式会社 **DTS**

<http://www.dts.co.jp/>

目次

1. 平成19年3月期決算の概要
2. 平成20年3月期の見通し

本資料についてのご注意

本資料に記載した次期の売上高、利益の予想数値は、業界の動向を含む経済状況、お客様の動向等、現時点で入手可能な情報をもとにした見通しを前提としており、種々の不確実な要因の影響を受けます。実際の売上高および利益は、本資料に記載されている予想数値とは異なる場合があります。

平成19年3月期決算の概要

単体業績状況

(単位：百万円、%)

| | 金額 ()内は売上比率 | 計画比 | 前期比 | | 金額 | 前期比 |
|-------|------------------|-------|-------|--|--------|-------|
| 売上高 | 36,908 | 101.8 | 101.5 |  FAITECを加味すると(概算) | 39,840 | 108.7 |
| 売上総利益 | 7,386 (20.0%) | 101.5 | 105.9 | | 7,995 | 114.0 |
| 営業利益 | 4,134 (11.2%) | 105.6 | 98.1 | | 4,538 | 107.9 |
| 経常利益 | 4,249 (11.5%) | 106.1 | 98.8 | | 4,652 | 108.4 |
| 当期純利益 | 2,478 (6.7%) | 105.8 | 97.3 | | 2,717 | 106.9 |

サービス別売上高の状況 (DTS単体)

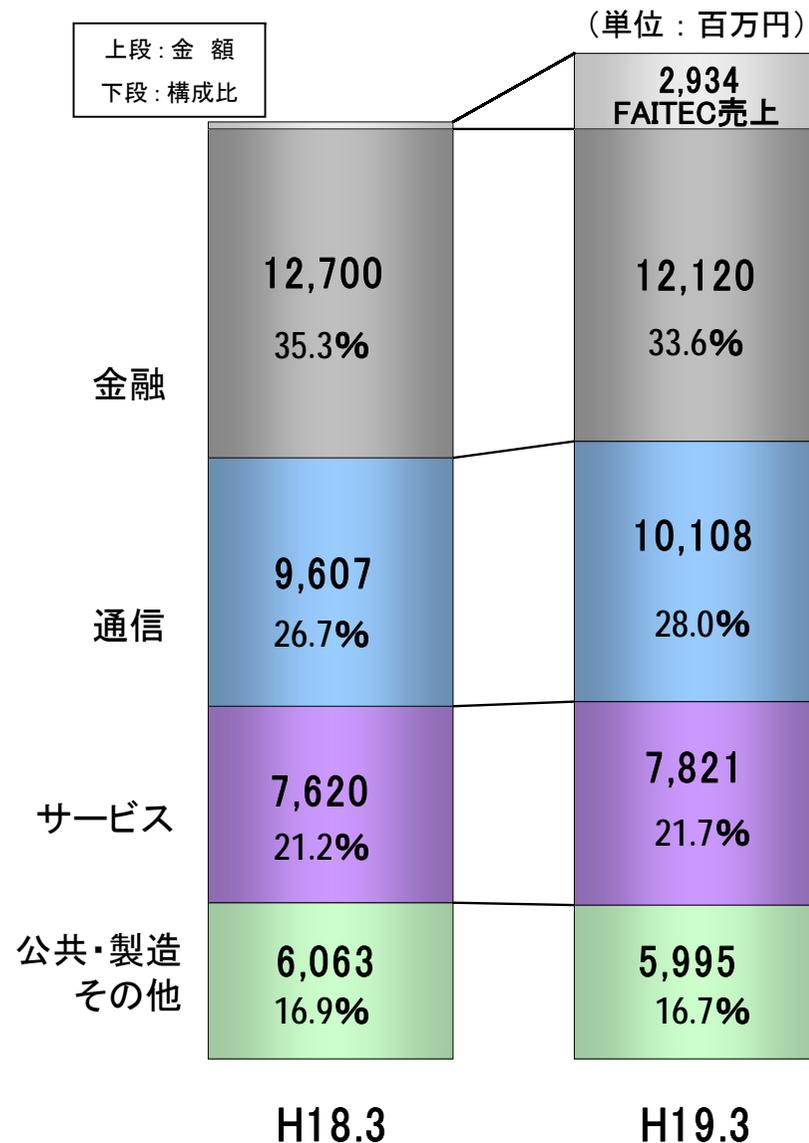
(単位：百万円、%)

| | 金額 (構成比) | 計画比 | 前期比 | | 金額 | 前期比 |
|---------|--------------------|-------|-------|---|--------|-------|
| 情報サービス | 36,046 (97.7%) | 101.2 | 100.2 |  FAITECを加味すると(概算) | 38,979 | 108.3 |
| システム | 24,152 (64.6%) | 100.9 | 101.5 | | 27,086 | 113.8 |
| オペレーション | 6,329 (18.0%) | 101.7 | 87.1 | | 6,329 | 87.1 |
| ネットワーク | 5,564 (15.1%) | 102.3 | 112.9 | | 5,564 | 112.9 |
| プロダクト | 861 (2.3%) | 132.5 | 229.1 | | 861 | 229.1 |
| 計 | 36,908 (100.0%) | 101.8 | 101.5 | | 39,840 | 108.7 |

システム、ネットワークの増加に対し、オペレーションは減少

従来型の運用業務から運用設計・基盤構築へとシフト

エンドユーザー別売上高 (DTS単体:情報サービス)



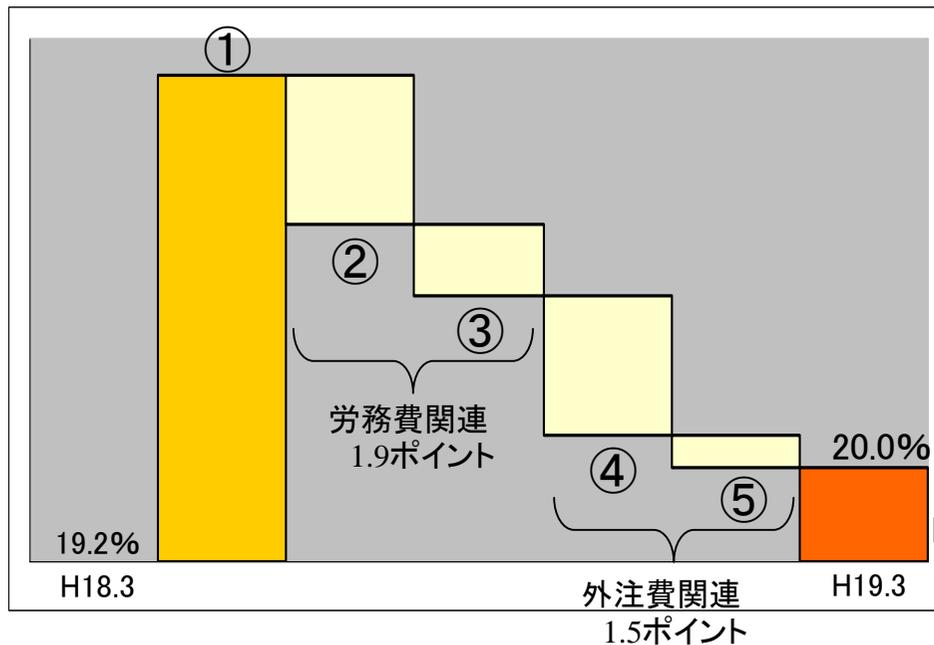
- **金融**(前期比 95.4%、構成比 Δ 1.7%)
都市銀行向けを中心に好調を維持、FAITECへの業務移管により見かけ上前期比減となっているが、実質的には大幅増加(前期比116.0%)
- **通信**(前期比 105.2%、構成比 +1.3%)
通信会社向けの社内システム開発やデータセンタ運用、ICチップ開発等が増加
- **サービス**(前期比 102.6%、構成比 +0.5%)
大型案件の終了による反動減があったものの、新規案件獲得でカバー
- **公共・製造その他**
(前期比 98.9%、構成比 Δ 0.2%)
製造業向けのデジタル家電の組み込みソフト開発等の案件は増加したものの、大型案件終了による反動減があり、横ばい

売上総利益 (DTS単体)

売上総利益 7,386百万円

前 期 比 105.9%
 売上比率 20.0%

(前期 6,975百万円、売上比率 19.2%)



- ①売上単価の改善等 +4.2ポイント
- ②労務費単価の上昇 -1.3ポイント
- ③マネージャー増強 -0.6ポイント
- ④外注比率の上昇 -1.2ポイント
- ⑤外注単価引き上げ -0.3ポイント

利益率0.8ポイント改善

売上単価の改善が人的コストの上昇を上回る

営業利益、経常利益 (DTS単体)

販管費 3,251百万円 (前期比117.8%、売上比率8.8%)

→ 会計制度変更(役員賞与引当金48百万円)除く前期比 **116.1%**

中期総合計画に基づく戦略的費用の増加

| | |
|-----------|-----------------|
| 資本・業務提携推進 | + 161百万円 (5.8%) |
| 新規ビジネス開発 | + 124百万円 (4.5%) |
| オフショア開発推進 | + 79百万円 (2.9%) |
| J-SOX法対応等 | + 35百万円 (1.3%) |
| 教育研修充実 | + 26百万円 (0.9%) |

- 営業利益 4,134百万円 (前期比98.1%、利益率11.2%)
- 経常利益 4,249百万円 (前期比98.8%、利益率11.5%)

配当金

当期純利益 2,478百万円

(前期比 97.3%、売上比率 6.7%)

中長期的な視点で先行投資(戦略的販管費)をしつつも、好調な市場環境を背景に前期並みの利益を確保

| 中間配当金(円) | 期末配当金(円) | 年間配当金(円) |
|----------|----------|----------|
| 20 | 40 | 60 |

子会社の業績状況

単位：百万円、()は前期比

| | 売上高 | 経常利益 | 当期純利益 |
|----------------------------|---------------|-------------|-------------|
| データリンクス | 8,215(119.5%) | 450(123.9%) | 240(116.9%) |
| FAITEC ※ []は前期実績 | 3,800 [404] | 403 [△9] | 239 [△6] |
| 九州DTS | 1,075(124.0%) | 97(132.1%) | 56(127.6%) |
| 既存グループ各社とも好調 大幅増収増益 | | | |
| 日本SE (6カ月実績) | 2,987(-) | △136(-) | △47(-) |
| RD (9カ月実績) | 701(-) | 9(-) | △19(-) |
| SOLIDWARE (6カ月実績) | 33(-) | △46(-) | △46(-) |
| アスタリクス (2カ月実績) | —(-) | △15(-) | △9(-) |

(注) FAITECは昨年1月から、SOLIDWAREは昨年6月から、アスタリクスは本年2月から営業を開始したため、前年同期比を記載していません。また、RDおよび日本SEは当期から連結子会社となったため、前年同期比を記載していません。

連結業績状況

| | 金額 (百万円) | 売上比率 (%) | 計画比 (%) | 前期比 (%) |
|-------|-------------|-------------|------------|------------|
| 売上高 | 51,969 | — | 101.0 | 121.0 |
| 売上総利益 | 9,678 | 18.6 | 101.0 | 121.8 |
| 営業利益 | 4,754 | 9.1 | 102.9 | 103.2 |
| 経常利益 | 4,784 | 9.2 | 103.3 | 102.3 |
| 当期純利益 | 2,565 | 4.9 | 101.6 | 96.6 |

既存グループの
売上高
47,852百万円
前期比 111.4%

販管費 4,924百万円 (前期比 +1,586百万円、147.5%)

のれん償却費 +354百万円

新規連結会社の販管費 (日本SEののれん償却費を除く) +528百万円

DTS単体の戦略的販管費 +425百万円

平成20年3月期の計画

平成20年3月期の重点施策

- ◆ 規模拡大
→ コアビジネス拡大、
国内外ビジネスパートナーとの連携強化等
- ◆ 付加価値向上
→ SI・プライム案件拡大、受注条件の改善、
CMMI資格取得等
- ◆ 社会的評価の向上
→ J-SOX法対応、EMS推進、社員活性化の推進等



中期総合計画 前倒しでの達成を図る

グループ総合力強化

- リソース交流(DTSグループ4,000人体制)
→ 営業力、技術力、人材の総合活用
- グループ共通基盤の確立
→ プロジェクト管理手法の標準化、教育研修制度の共有化、
経理・財務の統一化、情報インフラの整備
- ビジネスパートナーとの協業体制の深化
→ 一括発注の推進、教育機会の提供、
国内ビジネスパートナーとの連携強化(1500人月増強)、
オフショア開発本格展開



さらなるシナジー効果を発揮し、ポジショニングUP

新規連結子会社

- ▶ **株式会社総合システムサービス** (本年2月に完全子会社化)
京都市にある中堅ソフトハウスで組込み系、Web系、基盤系の技術力が高く、消防分野・地図情報分野に強み

関西圏での開発体制拡充 (DTS関西支社、RDと合わせ400名)

- ▶ **株式会社MIRUCA** (本年4月にDTS100%出資で新設)
グループ企業間での技術力の均質化と高水準の教育体制構築を目的として設立、当面はDTSグループ向けの教育事業を展開し、将来的には他企業への教育サービスを提供

DTSの教育ノウハウをグループ各社に提供

単体通期計画

(単位：百万円、%)

| | 金額 | 売上比率 | 前期比 |
|-------|--------|------|-------|
| 売上高 | 38,908 | — | 105.4 |
| 売上総利益 | 7,957 | 20.5 | 107.7 |
| 営業利益 | 4,526 | 11.6 | 109.5 |
| 経常利益 | 4,692 | 12.1 | 110.4 |
| 当期純利益 | 2,742 | 7.0 | 110.7 |

H20.3期もFAITEC
へ約5億円の業務
を移管
実質成長 106.5%

増収＋売上総利益率UPで約10%の増益

グループ各社の通期計画

単位：百万円、()は前期比

| | 売上高 | 経常利益 | 当期純利益 |
|------------|---------------|-------------|-------------|
| データリンクス | 8,935(108.8%) | 470(104.3%) | 265(110.2%) |
| FAITEC | 4,450(117.1%) | 455(112.8%) | 269(112.3%) |
| 九州DTS | 1,130(105.1%) | 98(100.5%) | 58(104.6%) |
| 日本SE | 6,168(－) | △134(－) | △143(－) |
| 総合システムサービス | 1,501(－) | 44(－) | 26(－) |
| RD | 1,040(－) | 13(－) | 7(－) |
| MIRUCA | 296(－) | 0(－) | 0(－) |
| アスタリクス | 8(－) | △50(－) | △29(－) |
| SOLIDWARE | 1(－) | △14(－) | △29(－) |

(注) RDおよび日本SEは前期途中から連結対象となったため、前期比は記載していません。SOLIDWAREは本年6月に清算する予定であり、前期は記載していません。総合システムサービスは、当期より連結対象となるため、前期比は記載していません。MIRUCAは本年4月に設立したため、前期比は記載していません。

連結計画

| | 金額 (百万円) | 売上比率 (%) | 前期比 (%) |
|-------|-------------|-------------|------------|
| 売上高 | 59,637 | — | 114.8 |
| 売上総利益 | 11,360 | 19.0 | 117.4 |
| 営業利益 | 5,116 | 8.6 | 107.6 |
| 経常利益 | 5,124 | 8.6 | 107.1 |
| 当期純利益 | 2,552 | 4.3 | 99.5 |

既存グループの
売上高
51,224百万円
前期比 107.0%

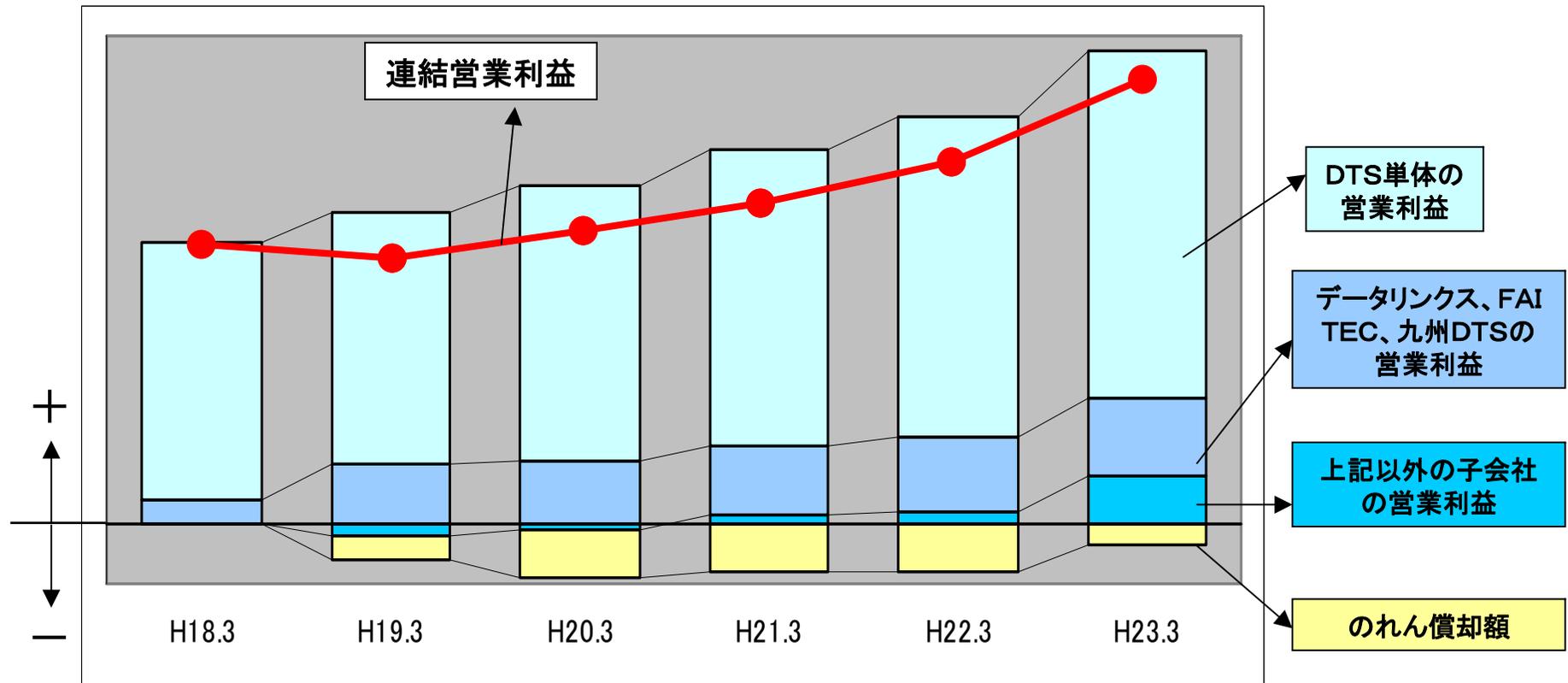
販管費
+1,320百万円

のれん償却費
+408百万円
日本SEの販管費(のれ
んを除く) +412百万円
新規連結子会社の
販管費 +166百万円
既存グループ
(DTS含む)の販管費
+314百万円

売上高の連単倍率1.53倍

中期総合計画の売上目標(600億円)を1年前倒しでほぼ達成

営業利益とのれん償却費の推移



- ・日本SE単体ののれん償却費 (H22.3期まで償却) 4.5億円 (H19.3期は227百万円)
- ・日本SEの連結にかかるのれん償却費 (H29.3期まで償却) 2.7億円 (H19.3期は136百万円)
- ・総合システムサービスののれん償却費 (H24.3期まで償却) 0.3億円 (H20.3期から償却)
- ・RD他ののれん償却費 0.5億円 (H19.3期は23百万円)